

## 令和5年度第2回沖縄県振興推進委員会 議事概要

- 1 開催日時 令和6年1月30日(火) 9:45~10:30
- 2 開催場所 沖縄県庁6階第2特別会議室
- 3 出席者 玉城知事、照屋副知事、島袋政策調整監、知事公室長、  
総務部長、企画部長、環境部長、子ども生活福祉部長、  
保健医療部長、農林水産部長、商工労働部長、  
文化観光スポーツ部長、土木建築部長、  
教育管理統括監(教育長代理)、病院事業局長、企業局長、  
県警本部警務部参事官(警察本部長代理)
- 4 議 題 【審議事項】「沖縄21世紀ビジョンゆがふしまづくり計画  
改訂案」について

### 5 議事内容

(1) 議題 「沖縄21世紀ビジョンゆがふしまづくり計画改訂案」について

ア 事務局が資料1「沖縄21世紀ビジョンゆがふしまづくり計画 計画改訂について」、資料2「沖縄21世紀ビジョンゆがふしまづくり計画(沖縄県デジタル田園都市構想総合戦略)(改訂案)」に基づき説明を行った。

イ 総務部長から、合計特殊出生率2.07について、過去に、この数値になっていたのはいつ頃かと質疑があった。

それに対して事務局から、1990年以降における沖縄県の合計特殊出生率は1991年頃の1.98が最高であり、2.07を下回っていると説明した。

ウ 総務部長から、沖縄県総人口が2040年頃にピークを迎え以降は減少していくという展望について、合計特殊出生率が上昇・維持される場合でも、2040年以降に人口減少が生じるのはなぜかという質疑があった。

それに対して、事務局から、生産年齢人口の減少等により、仮に合計特殊出生率を維持したとしても、将来的に人口は減少すると説明した。

エ 病院事業局長から、人口推計の際に早世率を考慮して算出しているのかと質疑があった。

それに対して、事務局から、年齢層ごとの平均寿命や人口構成、生残率等も考慮して総人口を推計していると説明した。

オ 照屋副知事から、沖縄県から他県へ県民がIターンで移住していくという話を聞いたことがあるが、計画内で言及しているところはあるのかと質疑があった。

それに対して、事務局から、沖縄県外への転出の流れは確かにあるとし、本計画の基本施策にて経済の活性化、UJIターンの推進、若年者の県内就職促進等の取組を取り入れていると説明した。

カ 玉城知事から、UJI ターンに関する KPI 指標は設定されているのかと質疑があった。

それに対して、事務局から、UJI ターン的环境整備を図っていくうえで、移住相談件数が指標として設定されていると説明した。

キ 病院事業局長から、離島での医療確保のため医療 DX が必要となってくることもあり、本計画の基本施策4「離島・過疎地域の潜在力を引き出す取組」に医療 DX を明文化して取り入れてほしいとの意見があった。

また、玉城知事から、医療 DX の見える化は必要であり、考慮していただきたいと発言があった。

それに対して、事務局から、本計画の基本施策4「離島・過疎地域の潜在力を引き出す取組」の施策名に「医療 DX」という言葉を加えると発言した。

ク 「沖縄21世紀ビジョンゆがふしまづくり計画改訂案」については、修正意見等を踏まえて事務局案のとおり、全会一致で了承された。

(2) 議題が了承された後、委員長（玉城知事）から次の発言があった。

ア 今後は、各施策の実施状況や KPI を踏まえた PDCA を行い、取組状況等を確認することとしている。

イ 沖縄21世紀ビジョンに掲げる5つの将来像の実現を図るため、デジタル田園都市国家構想交付金、企業版のふるさと納税制度を積極的に活用するとともに、平和で幸せが実感できる豊かなゆがふしまづくりに向け本計画で掲げる各施策の着実な推進に努めていただきたい。

以上